

IV 政策過程と制度設計

4-1 政策の概念と政策過程

- 政策の概念
 - ・ 行政活動の次元
 - ・ 社会システムとその制御
 - ・ 政策の形式／要素／手段

- 政策 = 行政活動のシナリオ／設計図／プログラム
 - 政策の形式 公示形式 法律／予算
 - 政策の要素 目的／主体／対象／手段
 - 政策手段 権力的手段／経済的誘因提供／情報提供／物理的制御

- 政策と法
 - 法律による行政の原理
 - 現代の行政法の理論
 - 政策の執行と法律の執行
 - 法の限界と法制度の設計

- 政策過程
 - 基本的な考え方 ①問題の分析 ②解決の仕組の考案 ③制度設計（法律にする）
 - 政策過程 = 作業段階の循環
 - ①課題の設定 現実と期待のギャップ／確定
 - ②原案の作成
 - ③公式決定
 - ④政策の執行

- 政策の評価
 - 事業評価／プログラム評価
 - 事前評価／事後評価
 - 評価の射程／対象（アウトプットとアウトカム）／評価基準／因果関係
 - 評価手法 費用効果分析／費用便益分析
 - 評価手法の問題と政治性 評価者（第三者性）／評価情報
 - 評価の限界と予算・計画との連動の必要性

4-2 制度設計の手法と環境変化への適応

- 政策決定の方法モデル 合理的決定モデル／インクリメンタリズム／etc.

- 多様な選択肢
 - ①直営／委託
 - ②専門家／一般市民
 - ③実施単位 全体／近隣地域
 - ④独占／競争
 - ⑤一般会計／受益者負担

- 環境変化の要因
 - ①自然環境の変化
 - ②社会環境の変化
 - ③技術の進歩
 - ④予期せぬ効果
 - ⑤相互学習

- 変化の認識

- 適応能力
 - ①部分的適応
 - ②再編成
 - ③模倣
 - ④新規開発

<文献>

- 森田 『現代の行政』 12章～14章
- 西尾 『行政学』 14章、15章
- フッド 『行政活動の理論』 4章、5章